

## 個人サンプリング法：測定の方法〔C測定、D測定〕

### 環境・健康

個人サンプリング法による作業環境測定には、単位作業場所における気中有害物質の平均的な状態を把握するための「C測定」と、有害物質の発散源に近接する作業など、C測定の結果を評価するだけでは作業者の有害物質への大きなばく露を見逃すおそれがあると考えられる作業が存在する場合に、当該単位作業場所について行うC測定を補完するための「D測定」があります。下記表に作業環境測定〔C測定、D測定〕を示しました。

### 作業環境測定の方法〔C測定、D測定〕

	C測定	D測定
測定の目的	気中有害物質濃度の平均的な状態、濃度分布を統計的に把握するための測定	C測定を補完するための測定 D測定の対象作業： 発散源に近接する作業 (C測定だけでは、大きなばく露を見逃す恐れのある作業)
測定対象者	均等ばく露作業を行う労働者 (原則として全員が対象) 個人サンプラーを装着(呼吸域)	気中測定対象物質の濃度が最も高くなると思われる作業者(呼吸域)
測定対象者数	均等ばく露作業の労働者5人以上 ※5人を下回る場合は、分割サンプリングし、測定値の数を5以上	複数の測定を行ってもよい ※2人以上の測定を行った場合にはそのうちの最大値
測定値の数	5以上	最大値
測定時間等	原則作業に従事する全時間 ※均等ばく露反復作業では短縮可能(短縮時間は2時間以上とする) ※労働者数が5人を下回り、分割サンプリングを行う場合は、全時間を均等に分割する	連続した15分間 気中測定対象物質の濃度が最も高くなると思われる時間

### kes サポート

課 題	kes サポート
作業環境の管理状況の調査	作業環境測定
作業環境への有害物質の発散抑制	局所排気装置等の定期自主検査 排・換気装置の改善・設置
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施
衛生意識の向上	労働衛生教育